

# 社会的課題解決に取り組む オムロンのサステナビリティ経営

2023年9月14日

オムロン株式会社

井垣 勉

# 数字で見るオムロン

創業<sup>\*1</sup>

90年

本社所在地

京都市

グループ会社数

162社

事業展開国/地域

約120

グループ社員数

2.8万人

売上高

8,761億円

売上総利益率

45.0%

時価総額

1.6兆円

銘柄選定<sup>\*2</sup>

日経225  
JPXプライム150  
TOPIX Large70

ブランド価値<sup>\*3</sup>

11.5億ドル  
(国内43位)

\*1: 23年5月末現在 \*2: 23年6月末現在。その他すべて23年3月末現在  
\*3: インターブランド社「Best Japan Brands 2023 ランキング」より

# サステナビリティ評価から見るオムロン

## グローバル

 <p>Member of <b>Dow Jones Sustainability Indices</b> Powered by the S&amp;P Global CSA</p>	<p>「DJSI-World」(セクター上位3%) 6年連続選定</p>
 <p>OMRON Corporation Business Segments: Materials &amp; Components <b>Top 5%</b> S&amp;P Global ESG Score 2022 <b>83</b> / 100 As of February 7, 2023 Please refer to the website for the complete methodology. For more information, please contact S&amp;P Global Sustainability S&amp;P Global Sustainability</p>	<p>「S&amp;Pグローバル・サステナビリティ・イヤーブック 2023」で「S&amp;PグローバルESGスコア上位5%」 を獲得</p>
 <p><b>2023</b> MSCI ESG Leaders Indexes Constituent</p>	<p>MSCI*1 ESGレーティング 最高評価「AAA」</p>
 <p>CDP SUPPLIER ENGAGEMENT LEADER 2022 CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION <b>A LIST 2022</b> CLIMATE WATER</p>	<p>「サプライヤー・エンゲージメント評価」で最高評価 「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」選定  「気候変動」「水セキュリティ」の2分野で 「Aリスト」に選定</p>
 <p>FTSE4Good</p>	<p>「FTSE4Good Index Series」 7年連続採用</p>
 <p>PLATINUM 2022 <b>ecovadis</b> Sustainability Rating</p>	<p>「ecovadis」 最高位プラチナに格付け</p>

## 国内

 <p>健康経営銘柄 2023</p>	<p>経済産業省/「健康経営銘柄」 5年連続選定</p>
 <p>DX注目企業2023 Digital Transformation</p>	<p>経済産業省/DX銘柄「DX注目企業2023」 初選定</p>
 <p>日経 SDGs 経営大賞</p>	<p>日本経済新聞社/SDGs経営大賞 「社会価値賞」受賞</p>
 <p>週刊 <b>東洋経済</b></p>	<p>東洋経済社/ 「SDGs日本を代表する500社」1位</p>
 <p>FTSE Blossom Japan Index FTSE Blossom Japan Sector Relative Index  2023 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)  2023 CONSTITUENT MSCI日本 ESGセレクト・リーダーズ指数</p>  <p>S&amp;P/JPX カーボン エフィシエント 指数</p>	<p>- GPIFが採用する5つのESG指数に選定 -  「FTSE Blossom Japan Index」*2 6年連続選定 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」*2 初選定  「MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」*1 6年連続選定 「MSCI 日本株・女性活躍指数」*1 6年連続選定  「S&amp;P/JPXカーボン・エフィシエント指数」 4年連続選定</p>

# サステナビリティ経営の原点：1959年「社憲」の制定

## 社憲

「われわれの働きで われわれの生活を向上し よりよい社会をつくりましょう」

## 創業者が社憲に込めたふたつの想い

### 企業の公器性

「社会に最もよく奉仕する企業には、  
社会が最も多くの利潤を与える。  
企業と社会は、共存共栄だ」

### 自らが先駆けとなる決意

「よい社会とは、ただ待っていてもやって  
こない。自らが先駆けとなって築き上げ  
ていくものだ」

# 企業理念

## Our Mission

(社憲)

われわれの働きで われわれの生活を向上し よりよい社会をつくりましょう

## Our Values

私たちが大切にする価値観

### ・ソーシャルニーズの創造

私たちは、世に先駆けて新たな価値を創造し続けます。

### ・絶えざるチャレンジ

私たちは、失敗を恐れず情熱をもって挑戦し続けます。

### ・人間性の尊重

私たちは、誠実であることを誇りとし、人間の可能性を信じ続けます。

# 長期ビジョンで、オムロンが取り組む社会的課題

2030年をゴールとする現行の長期ビジョンにおいて、オムロンが捉える社会的課題として「カーボンニュートラルの実現」、「デジタル化社会の実現」、「健康寿命の延伸」の3つを特定

オムロンが捉える社会的課題（=成長機会）

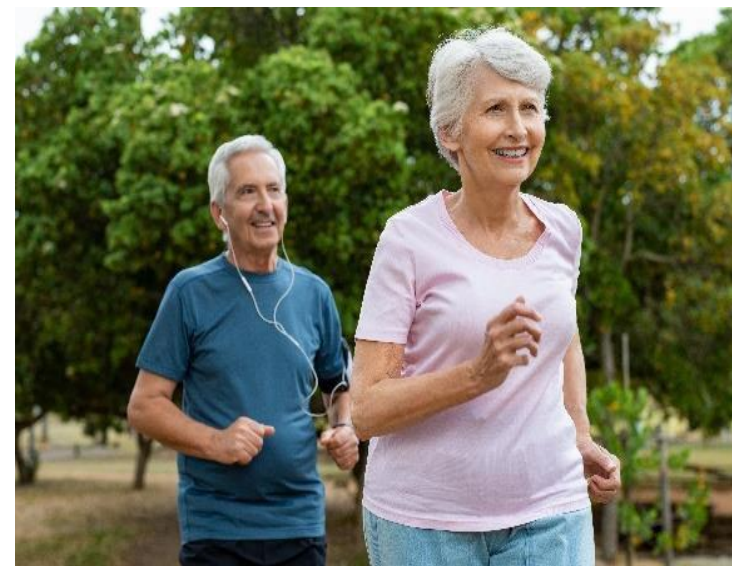
カーボンニュートラルの実現



デジタル化社会の実現



健康寿命の延伸



# 長期ビジョンの実現のカギとなる「サステナビリティ重要課題」の特定

2030年に向けた持続的な価値創造に影響を与える5つのサステナビリティ重要課題を特定した

①

## 事業を通じた社会的課題の解決

事業を通じた社会的課題の解決により、社会価値を創出するとともに  
オムロンの持続的な成長を牽引する

②

## ソーシャルニーズ創造力の最大化

オムロンの持続的成長のために競争力となる  
ビジネスモデルの進化と新たな事業創出の取り組みの拡大

③

## 価値創造にチャレンジする多様な人財づくり

オムロンの持続的成長の源泉となるオムロンで働く多様な人財の  
能力やスキルを引き出す人財マネジメントの進化

④

## 脱炭素・環境負荷低減の実現

気候変動を「機会」と「リスク」の二側面で捉えた  
企業としての社会的責任の実践と更なる競争優位性の構築

⑤

## バリューチェーンにおける人権の尊重

企業の社会的責任として、自社のみならずバリューチェーンで  
働く人々の人権の尊重に対する影響力の発揮

# 重要課題「事業を通じた社会的課題の解決」の構造

主力の4ドメインで3つの社会的課題を解決することで、  
社会価値を創出するとともに、自社の経済価値の創出につなげる

社会的課題 ドメイン・【コア事業】	カーボンニュートラルの実現	デジタル化社会の実現	健康寿命の延伸
インダストリアル オートメーション 【制御機器事業（IAB）】	「持続可能な社会を支えるモノづくりの高度化」への貢献		
ヘルスケア ソリューション 【ヘルスケア事業（HCB）】			「循環器疾患の “ゼロイベント”」への貢献
ソーシャル ソリューション 【社会システム事業（SSB）】	「再生可能エネルギーの普及・効率的利用と デジタル社会のインフラ持続性」への貢献		
デバイス&モジュール ソリューション 【電子部品事業（DMB）】	「新エネルギーと高速通信の普及」への貢献		

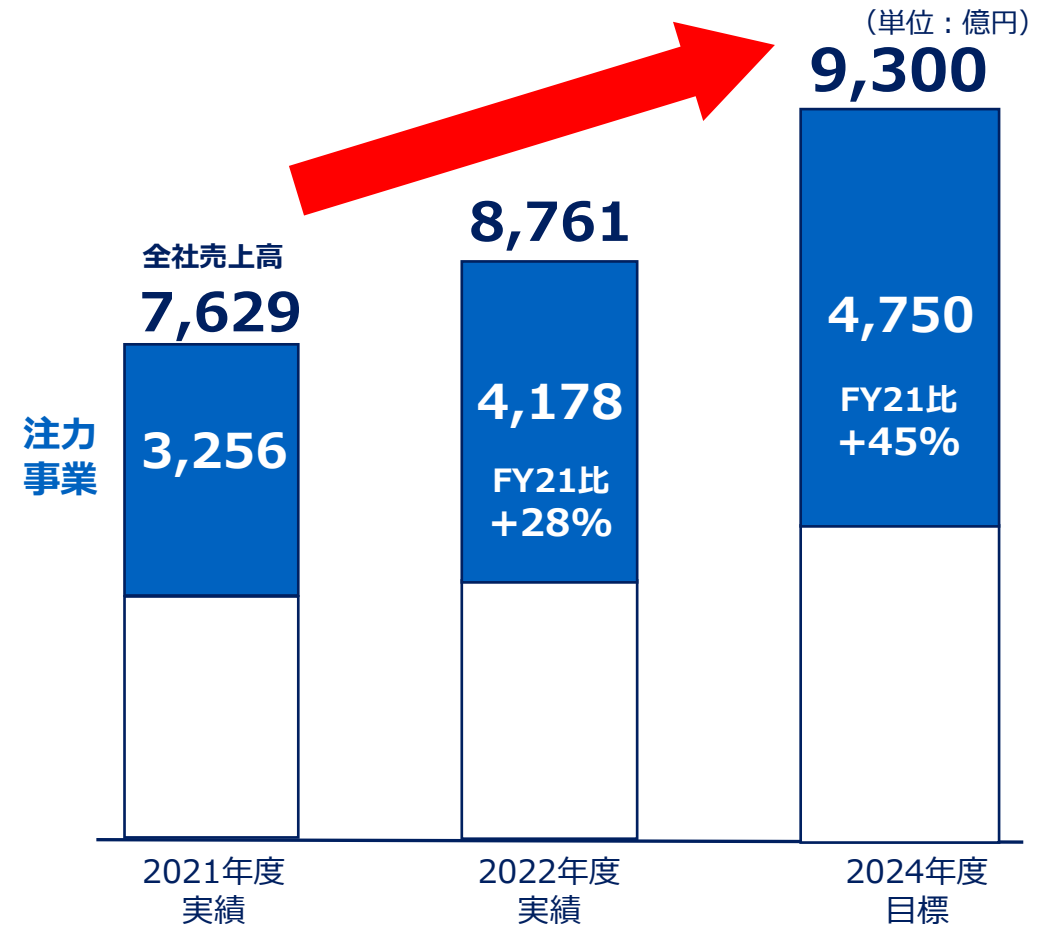


# 社会的課題を解決する「注力事業」がグループの成長を牽引する

中期経営計画の中で定量目標を設定し、対外的なコミットメントとする

注力事業の売上増加額と伸び率（2021年度比）

	注力事業	売上増加額 (21年度比)
制御機器事業 (IAB)	デジタル、環境モビリティ (NEV) 食品&日用品、医療、物流	+860億円
ヘルスケア事業 (HCB)	循環器、呼吸器、 ペインマネジメント、遠隔診療サービス	+480億円
社会システム事業 (SSB)	再生可能エネルギー制御 (住宅・産業)、 マネジメント&サービス	+120億円
電子部品事業 (DMB)	DC機器、高周波機器	+30億円



# グローバルな事業活動を支える統合リスクマネジメント

リスクへの感度を上げ、リスクが顕在化する前に察知し、打ち手を講じるため、統合リスクマネジメントというオムロングループ共通のフレームワークで、経営・事業を取り巻くリスクの分析/マネジメントを行う



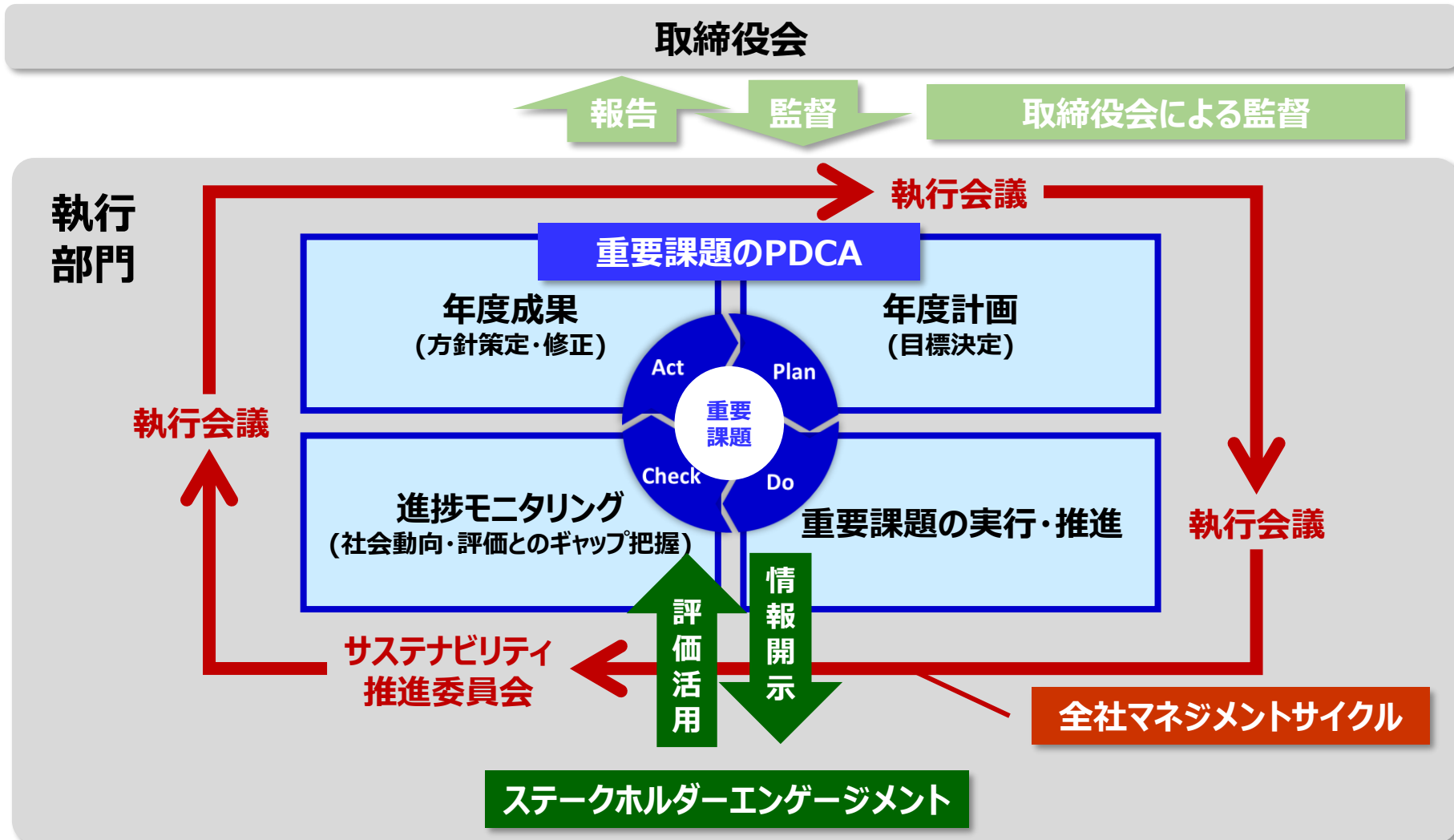
# 気候変動による財務的インパクトの開示

TCFDの枠組みで、想定されるリスクやビジネス機会ごとに財務的なインパクトを定義し、開示

リスク・機会の種類			顕在時期	事業及び財務への影響	
				1.5°C/2°C	4°C
リスク	移行リスク	政策・規制	中期	小	小
		市場・技術	短～中期	小	小
		評判	短～中期	小	小
	物理リスク	急性	短期	小	小
機会	製品・サービス・市場	制御機器事業	短～中期	大	中
		ヘルスケア事業	短～中期	小	小
		社会システム事業	短期	中	小
		電子部品事業	短～中期	小	小

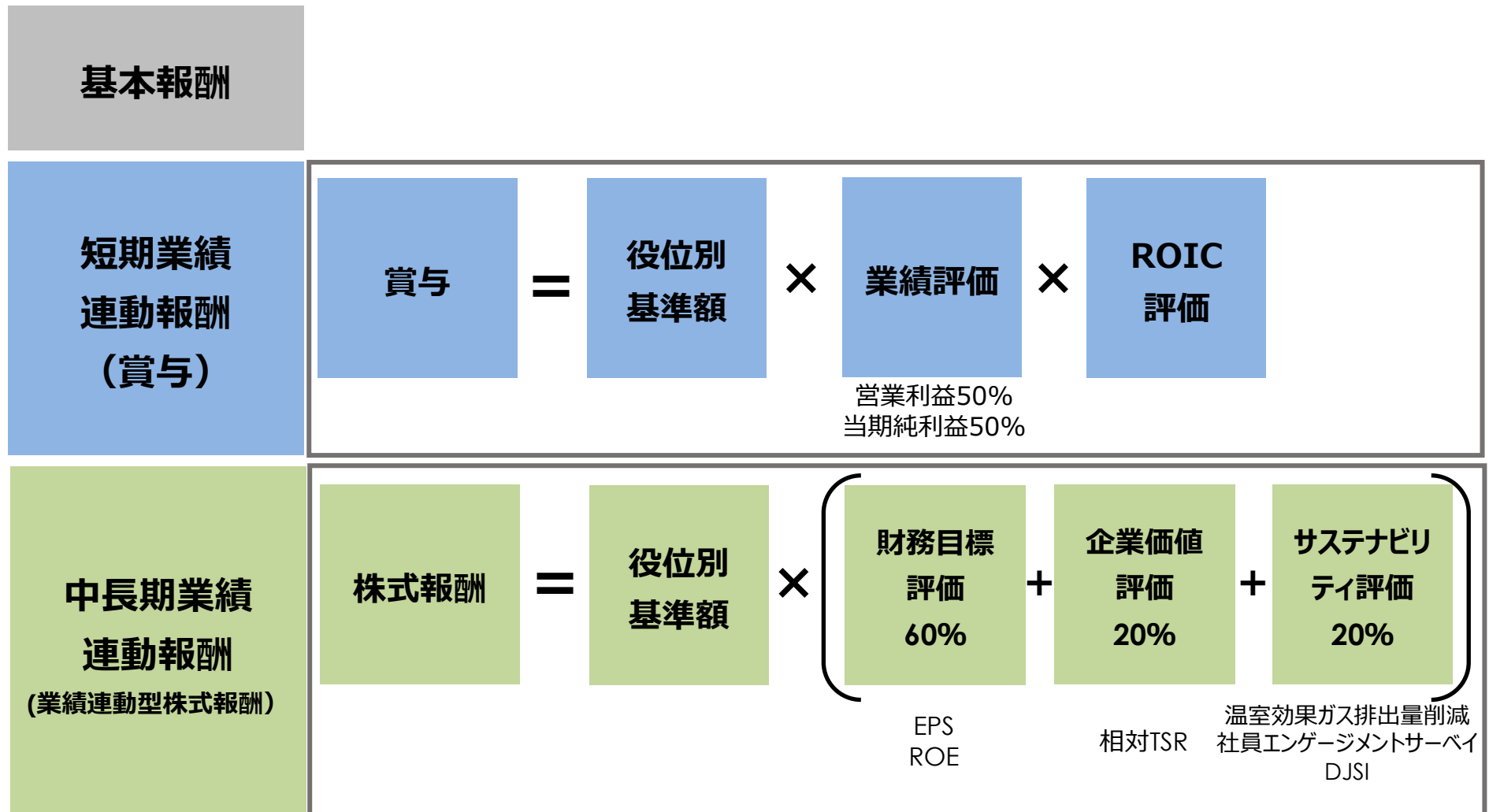
# サステナビリティ・マネジメント構造

「執行」側のサステナビリティの取り組みを、取締役会が監視監督。  
社会動向や社内状況を把握し、随時目標や取り組みの見直しを実施。



# サステナビリティ取組に対する経営のコミットメント

## 役員を対象とした中長期業績連動報酬にサステナビリティ指標を組み込む



**OMRON**

**90** YEARS  
ANNIVERSARY

## \*1 MSCIロゴ使用時の免責事項文

THE INCLUSION OF OMRON CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF OMRON CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

## \*2 FTSE ロゴ使用時の免責事項文

「FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここに[オムロン株式会社]が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。」